北九州市立則松中学校

【学校ホームページアドレス】
www.kita9.ed.jp/norimatsu-j

ジャガイモ

校長通信　No.２７４

令和５年　９月１５日

「 第5回きずなプロジェクト始動！ 」

校長　江　口　　満

本校生徒会は、5月26日(金)に行った生徒総会で、ＳＤＧｓの視点を踏まえ、被災地の現状を知るとともに、被災された方々が少しでも元気になっていただきたいという思いを込め、令和元年度から継続している災害復興支援活動「第５回きずなプロジェクト」を立ち上げました。

具体的に生徒会が行う活動としては、10月18日(水)、岩手県大槌町と熊本県南阿蘇村、大分県日田市、福岡県朝倉市高木地区と東峰村と結んだ絆をもとに、ＰＴＡと連携した「第５回きずなプロジェクト」バザーを開催し、被災地の特産品の販売を行います。(裏面へ)

H23年東日本大震災・H28年熊本地震
H29年九州北部豪雨・R2年7月豪雨
R5年7月梅雨前線による大雨
災害復興支援活動

則松中学校生徒会
「第5回きずなプロジェクト」

※特産品販売
平成23年東日本大震災
　岩手県大槌町
平成28年熊本地震
　熊本県南阿蘇村
平成29年九州北部豪雨
　福岡県朝倉市高木地区
令和2年7月豪雨
　大分県日田市
　　御菓子つたや天ヶ瀬店
　　中津江村つえAP
令和5年7月梅雨前線による大雨
　福岡県東峰村

第5回きずなプロジェクト部員

9月12日(火)の全校集会。「被災地の特産品を一つでも購入することが災害復興支援につながります。今回も義援金を直接届けてまいります。」と協力を呼びかける生徒会長Ｕさん

北九州市立則松中学校 災害復興支援バザー 第5回きずなプロジェクト

被災地特産品購入で復興への後押しをしてみませんか？

10/18(水) 16：00～則松中学校　体育館

平成23年 東日本大震災
岩手県大槌町
- 生わかめ (150ｇ) 650円（冷蔵）
- サーモン西京漬け（２切） 650円（冷凍）
- ほやジャーキー (12ｇ) 650円

平成28年 熊本地震
熊本県南阿蘇村　くらしのめぐみ認定品
- 粗挽きそば （２人前入り） 550円
- 夢見る苺ジャム (150ｇ) 650円
- ブルーベリージャム (200ｇ) 700円
- あか牛キーマカレー （１人前） 900円

令和２年 ７月九州豪雨
大分県日田市天ヶ瀬温泉
大分県日田市中津江村
- 温泉饅頭（御菓子つたや天ヶ瀬店４個入り） 450円
- ゆずごしょう茶漬け 450円
- 焼き肉たれ(日田梨入り) (220ｇ) 550円
- 梨ゼリー (80ｇ) 250円
- 柚子胡椒 (60ｇ) 500円

平成２９年 令和 ５年 九州北部豪雨
朝倉市高木地区
東峰村宝珠山地区
- 梨 （１個Mサイズ） 300円（最高級の王秋なし）
- 宝珠山夢つくし (5kg) 2400円

前売券のみの購入です。当日販売は、致しません。
・要冷蔵・要冷凍の食品があります。保冷バック等をご準備ください。

申込〆切 9/22（金）担任の先生にご提出ください。
封筒は密封し、おつりの要らないようにお願いいたします。 則松中用

生徒会は9月12日(火)バザーの前売り券販売の案内を配布しました。被災地での仕入れ数把握の関係もありますので、前売り券での購入のみとさせていただき、当日券を販売いたしません。

配布した購入封筒に必要事項を記入し、代金を入れ、9月22日（金）までに担任の先生へご提出ください。封筒は密封し、おつりのいらないようお願いします。

バザー当日、申し込まれた生徒の皆さんへ購入封筒をお返しいたします。

※要冷蔵、要冷凍の食品がありますので、バザー当日、保冷パック等をご準備願います。

九州北部は、6月末から7月に入り梅雨前線による大雨が続いた。特に7月10日(月)の早朝、本校をはじめ西区内の多くの小・中学校が通常登校を判断した直後、福岡県に大雨特別警報が発令された。そのため急遽、本市の公立学校が登校時間の変更、そして休校の措置が取られた。当日の早朝から学校周辺や通学路、校区内の河川の状況を目視するために、本校の職員と巡回を重ねたが、幸いにも大きな被害はなかったと思っている。

数日後、本校生徒会「きずなプロジェクト」とご縁のある日田市観光協会のMさんと連絡が取れた。今回、日田市の小野地区等の被害が甚大で、小野地区への道路は通行不能であると聞く。そして被災地生徒派遣および特産品購入の打ち合わせのため、9月13日(水)、Mさんと直接お会いすることができた。

平成29年九州北部豪雨で被災した山の斜面の復旧が終わった現場が、今回の大雨でまた大きく崩落した。日田市の小野地区の方々は、「6年前よりも今回の雨のほうがひどかった。」と話していると聞く。(令和5年9月13日撮影)

日田市小野地区が通行止めになった道路の様子。河川の水量が護岸を超え道路が水没。その影響で、現在もアスファルトが波打っている。(令和5年9月13日撮影)

日田市でも7月10日(月)の明け方から雨が降り続き、日田市小野地区などに避難指示が発令されたそうだ。早朝の災害ということもあって、避難できず自宅に残る方もおられ、停電や電話不通などで、安否確認が難しい状況であった。7月11日(火)には孤立していた小野地区露木の方々が防災ヘリで避難され、翌12日には二次災害の懸念から小野地区中山等の方々が避難所に避難されたそうだ。

災害から一か月後になっても、二次被害の恐れがあるため市から避難指示が継続されている地域もある。自宅が被災した方や避難指示の対象となっている方々は、避難所から「みなし仮設住宅」に移るなど、避難生活が長期化していると聞き、胸が痛くなった。 アパート暮らしが初めての方もいて、なれない生活を強いられ、復旧が進めば「一日でも早く自宅に帰りたい。」と話しておられるそうだ。

そしてMさんから支援の依頼があった。現在、みなし仮設住宅等には家電や家財がないそうだ。そこで支援している団体がみなし仮設住宅などに、家電5点セット(冷蔵庫や洗濯機など)の無償貸与の支援を行っているそうだ。その団体へぜひ支援をお願いしたいという内容であった。10月7日(土)、生徒会代表は日田市小野地区を視察する。その際、今回のバザーで得た収益金の一部を義援金としてぜひ届けたい。

そして本校生徒会は、7月の大雨で被災した福岡県東峰村への視察も行う。前任校で少しご縁があったため相談したところ、東峰村の村長が大変お忙しい中、出迎えてくださることになった。また今回、東峰村の特産品「宝珠山夢つくし」の販売も可能になった。

このように10月7日(土)、大分県日田市小野地区、福岡県東峰村、福岡県朝倉市黒木地区に、生徒会執行部とＰＴＡが視察訪問し、バザーで得た収益金を義援金として直接届けるとともに被災地の特産品を購入する。その際、災害当時の様子や被災地の現状を学び、今後の災害復興支援活動の在り方について考え、10月27日(金)の文化祭で発表する予定だ。

平成29年の豪雨で小野川は氾濫。約16億円かけて復旧工事が行われ、その際、新たに整備されたのが「小野川スリット」。くし状に鉄の棒を置くことで流木をせき止める。今回の大雨では大量の流木が引っかかっていて、下流に流れ込むのを防ぎ、住宅などへの浸水を防いだ（令和5年9月13日撮影）